

# ひまわり在宅サポートグループ

**症例概要**      利用者氏名：M・M 様（90代 女性 要介護3）  
利用期間：平成27年8月～平成30年9月  
経過：平成27年7月から利用開始しシルバーカーで歩行していたが、H29年10月に自宅にて転倒し左大腿部骨折。その後9ヵ月の入院を経て利用を再開。入院前は要支援2だったが身体機能は低下し要介護3になった。日常生活の行動範囲が狭くなったが認知機能の低下はみられていない

## 内 容

ひまわりデイサービスセンターでは、今年度より漢字検定の活動を取り入れました。取り入れた動機は、ご利用者さまから、『日常的に認知症に対する不安』の訴えがあったこと、そして、『デイに通所されない日は家で何も活動する事がない』という話をお伺いしたことがきっかけでした。

そういったお話を受け、職員全員で何が出来るかを考えた結果、希望する利用者には、通所されない日に家で宿題を行い、定期的に漢字検定（8級から開始）を実施して、自宅における活動を提供するとともに、昇級する喜びを感じていただく取り組みを開始しました。現在では12名の方が参加しています。

Mさんは、本人も恒常的に「お金の管理など身の回りの事を自分で行いたい」というニーズがありました。この漢字検定の取り組みを利用者さんにお伝えしたところ、真っ先に活動に参加したいとのご要望を頂きました。元々、認知機能には大きな問題は見られておりませんでした。毎回、宿題もきちんと提出し新聞やニュースを見て分らない漢字などあるとメモに記入し、通所した時にデイサービスの職員に「この文字なんて読むの?」と日常的な読み書きに対し興味を持ち始めました。また、漢字検定に参加するようになってからは、家での生活も変わったようで退院後は車椅子生活でベットに居ることが多かったMさんですが、宿題がある為に離床する機会が多くなり家では新聞を読みたいので、玄関まで取りに行く、テレビのリモコンをこたつまで取りに行く、など、新しい漢字を探すことを目的に、自分でできる事が増えたようです。

Mさんはデイサービスで最高齢で、「人生、何歳になっても勉強する事が大事よ」と常に目標を持って行う事が、日常生活の維持を支えていると思えました。私達の取り入れた活動の1つが、その人の日常的な生活に大きく影響する大切さを再認識されました。

デイサービスに来所した日だけが、「輝きの一日」ではなく家に居るときも輝いていられる生活ができるように、今後も繋がるサービスを提供していきたいと思えます。